

N
K
E

NKEは京都工芸繊維大学と連携し、福祉に従事する作業者の支援を行う機器を開発中だ。商品のコンセプト設計は同大学との密な意見交換や、同社のエア機器技術の活用をベースに開発を進めている。同大学の品評会で試作機の使い勝手や技術的な情報を交換しながら完成度を高め、早期の商品化を目指している。

そのほかでは、設備や環境の変化をメーカで自動通報できる「れんら君」が大学や公共機関で採用されるケースも増えており、新たな連携先の模索を始めている。